



2020年3月13日

各 位

会 社 名 V A L U E N E X 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長執行役員CEO 中村 達生
(コード番号：4422 東証マザーズ)
問合せ先 取締役上席執行役員CFOコーポレート本部長 鮫島 正明
(TEL. 03-6902-9833)

＜マザーズ＞2020年7月期
投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

開催状況
開催日時 2020年3月12日
開催方法 ホームページへの決算説明動画掲載
(<https://valuenex.com/2020-2>)
説明会資料名 2020年7月期第2四半期決算補足説明資料

【添付資料】

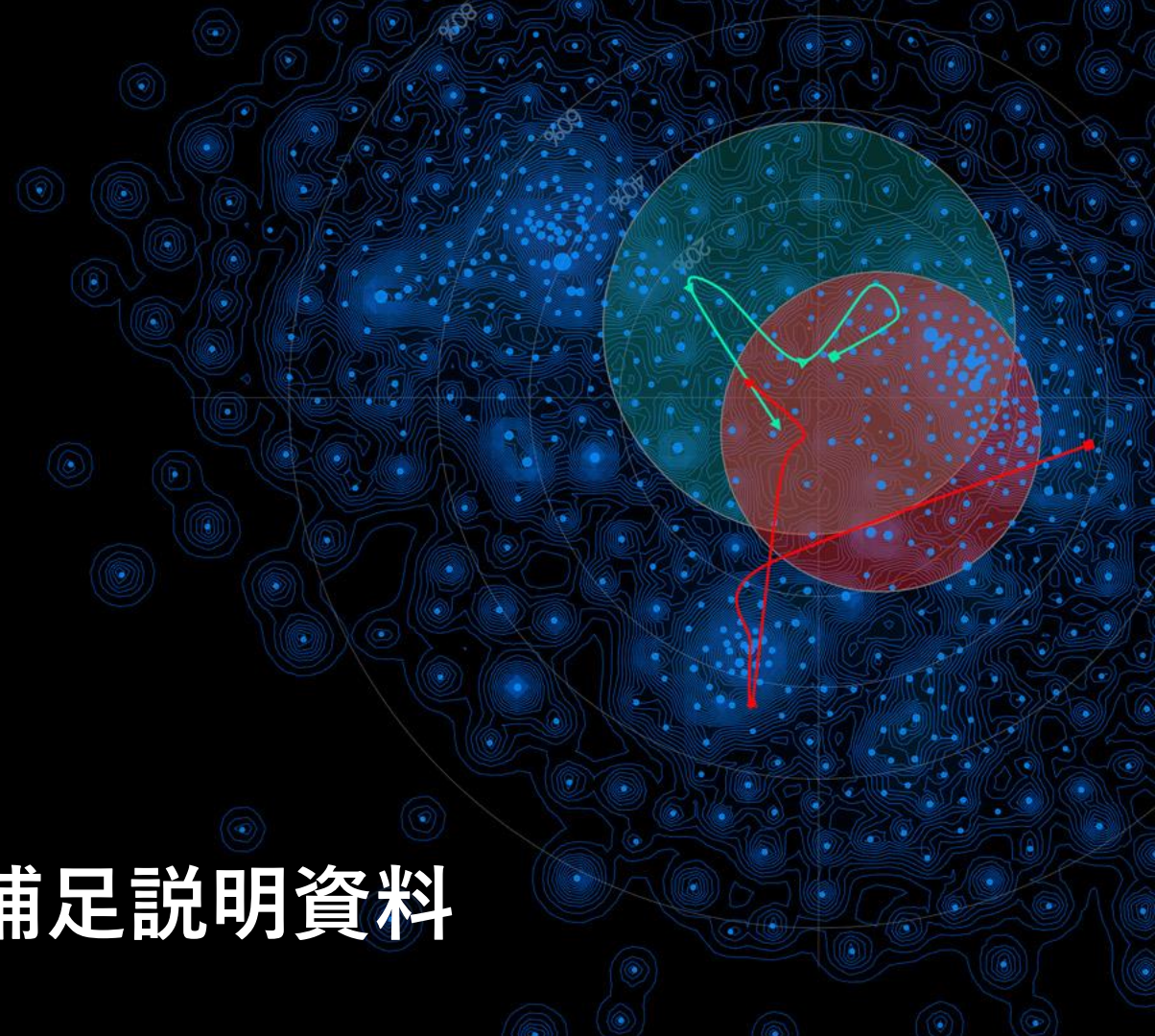
決算説明動画において使用した資料

以上

2020年7月期 第2四半期 決算補足説明資料

2020年3月12日

VALUENEX株式会社
東証マザーズ：証券コード4422



VALUENEX

項目

1

2020年7月期第 2 四半期業績報告

2

事業概要

決算ハイライト

1

売上は前年比25.8%増。
利益は販管費抑制により赤字
幅が縮小。

- 売上高 : 273百万円（前年比+25.8%）
- 営業利益 : ▲80百万円（前年比+12百万円）
- 経常利益 : ▲80百万円（前年比+28 百万円）
- 最終利益 : ▲80百万円（前年比+42百万円）

2

コンサルティング、ASPと
もに前年比20%超の伸び。

- コンサルティング：国内、米国ともに前年同期比プラス。
- ASP：国内において順調に積み上がり前年同期比プラス。

3

主に営業強化のため9名採用
（前期比+7名）
及びオフィス増床等により
販管費は増加

- 販管費：291百万円（前年比+9.0%）
→人員増による人件費の増加、オフィス増床による地代家賃、
消耗品費等の増加

2020年7月期第2四半期 連結業績概要

対前年同期：売上は約26%増。利益面は販管費を抑制したため、赤字幅が縮小。
 対計画数値：売上は2Qの予定を若干下回っているが、利益は予定を上回り進捗。

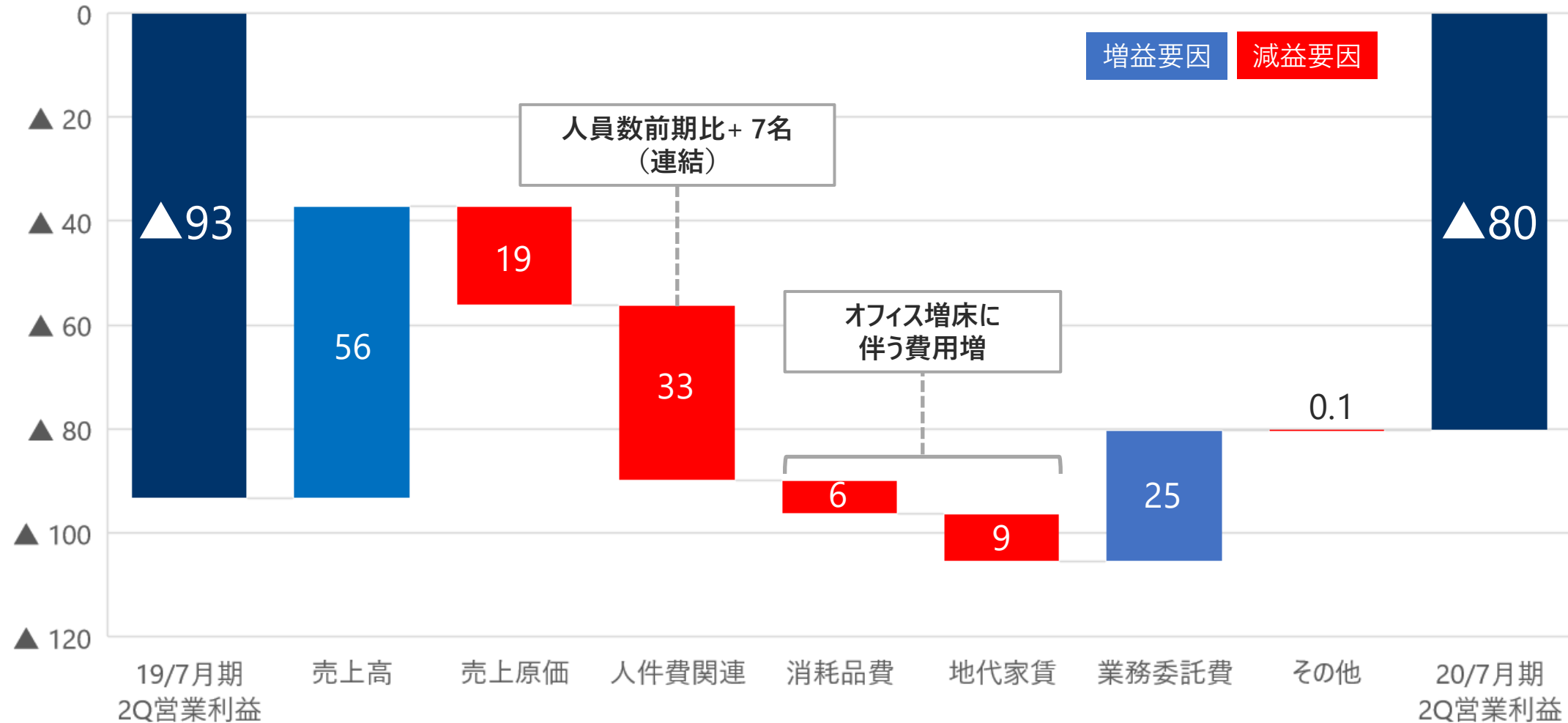
(単位：百万円)

	19/7月期 2Q実績	20/7月期 2Q実績	前年同期比		2020年7月期 計画数値	
			金額	増減率	年度計画	進捗率
売上高	217	273	56	+25.8%	908	30.1%
売上総利益	174	211	36	+21.3%	755	27.9%
販管費	267	291	24	+9.0%	716	40.6%
営業利益	▲ 93	▲ 80	12	-	39	-
経常利益	▲ 108	▲ 80	28	-	39	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 123	▲ 80	42	-	29	-

連結営業利益増減要因 ～対前年同期比～

売上の増加および販管費抑制により赤字幅が12百万円縮小した。

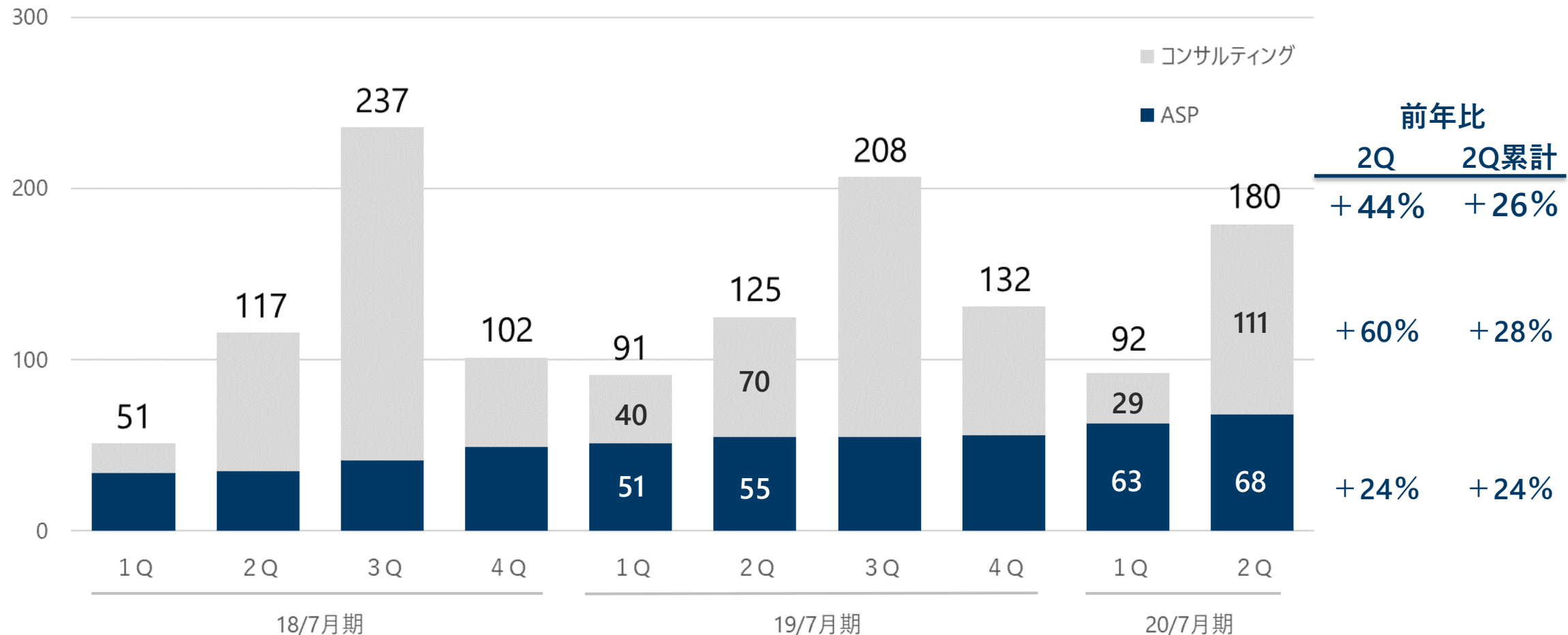
(単位：百万円)



連結売上高の推移（サービス別）

ASPが順調に積み上がり、コンサルティングも1Qでのマイナスを取り返し累計でプラスとなった。

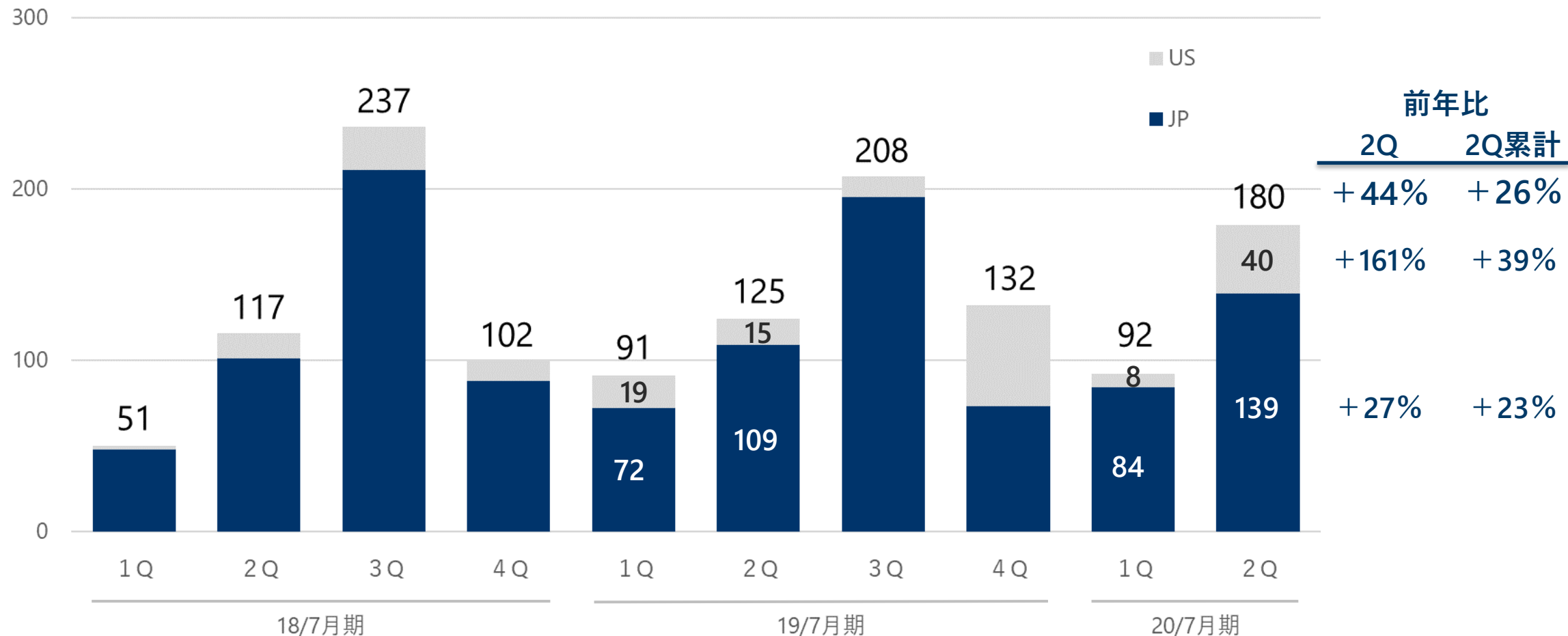
（単位：百万円）



連結売上高の推移（地域別）

国内、米国ともに伸長。2 Q累計でも前年同期比20%のプラスとなった。

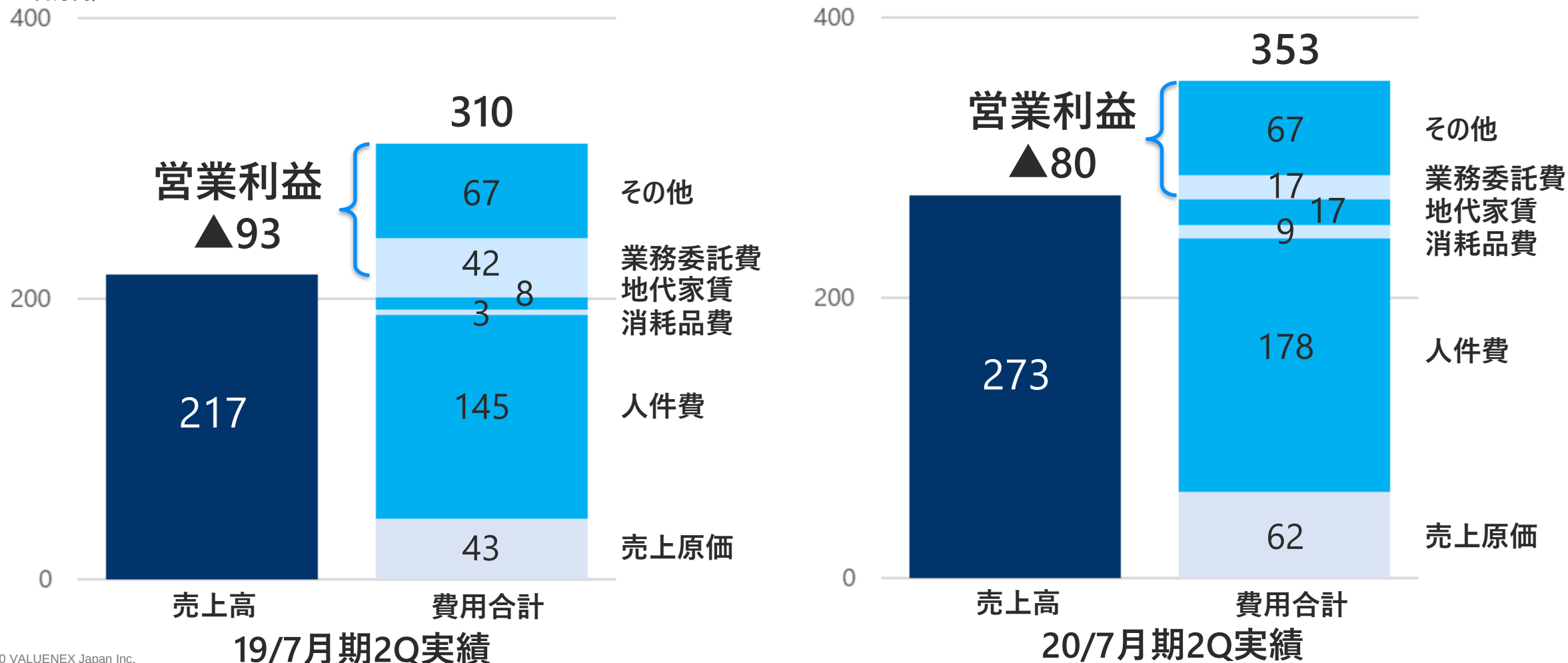
（単位：百万円）



連結営業費用の内訳

人件費の増加：人員数前年比＋7名（連結）によるもの。
 消耗品費・地代家賃の増加：オフィス増床に伴うもの。

（単位：百万円）



VALUENEX, Inc. (米国) 第2四半期活動状況

営業活動

- 将来予測、商品開発関連の大型コンサル契約の受注に成功
- ニュース、商品レビューなどの新しいデータベースを用いた解析をイノベーション部門、マーケティング部門への事業展開中
- 中国語解析機能を活かした新しいサービスで事業展開中
- シリコンバレーのコーポレートベンチャーキャピタルを中心にパイプラインを強化
- 日本、米国、欧州など世界中のコラボレーターを通じてリードを拡大

マーケティング

- 2020年3月にSkadden法律事務所と共同セミナーを企画中

採用

- スタンフォード学生のインターン5名を採用
- 営業1名、エンジニア1名、リサーチアナリスト1名の採用活動を継続中
- 人数拡大につれて4月にオフィス移転を検討中

開発

- ニュース、商品レビューなどの新しいデータベースとの連携による新しいサービスを開発中

項目

1

2020年7月期第 2 四半期業績報告

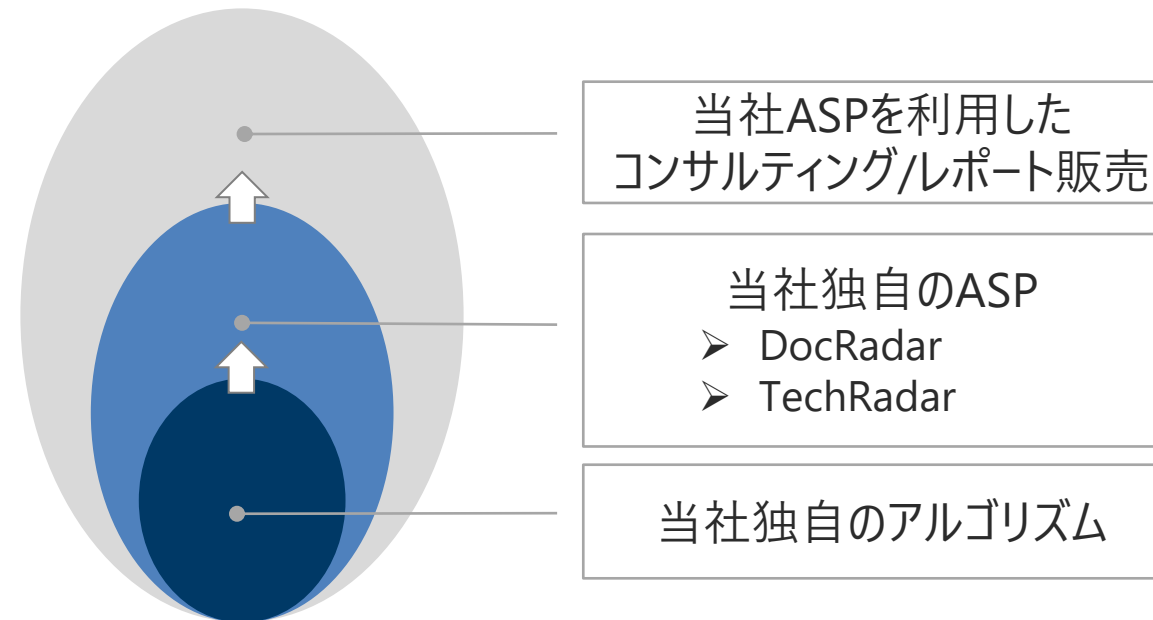
2

事業概要

当社のアルゴリズム事業について

当社独自のアルゴリズム^{注1}は大量の文書データ間の類似性を計算し、その関係を可視化するものであり、2つの販売形態を展開しております。

- 1) 当該アルゴリズムに基づくASP^{注2}
- 2) 本ASPを活用したコンサルティング / レポート販売



当社のアルゴリズム事業は、予測分析(プレディクティブ・アナリティクス) ^{注3}に応用可能なアルゴリズムであることを最大の特徴としております。

注1：アルゴリズムとは、問題解決のための具体的手順のことです。

注2：ASP（Application Service Provider）とは、インターネット等のネットワークを通じて、アプリケーションソフトウェアを提供するサービスを指しています。

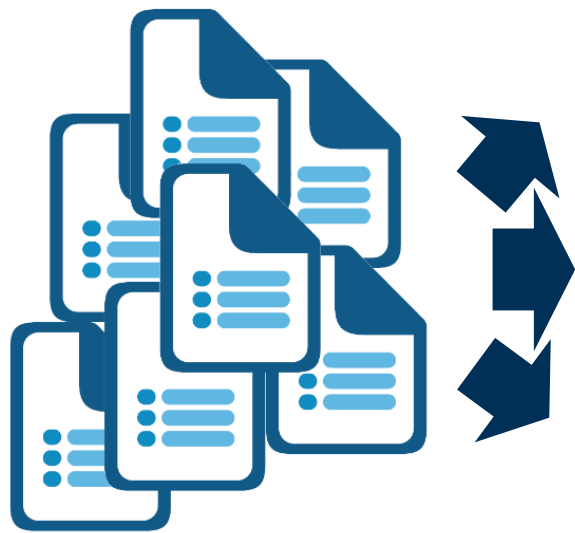
注3：経験的証拠からの学習により、個人/企業/政府などの行動を予測し、より良い意思決定を導く技術を意味しています。

サービスコンセプト：俯瞰解析

大量の文書データ間の関係性を独自のアルゴリズムにより計算・可視化し、意思決定・戦略構築のご支援をします。

BIG DATA**CLUSTERING****VISUALISATION****ANALYTICS**

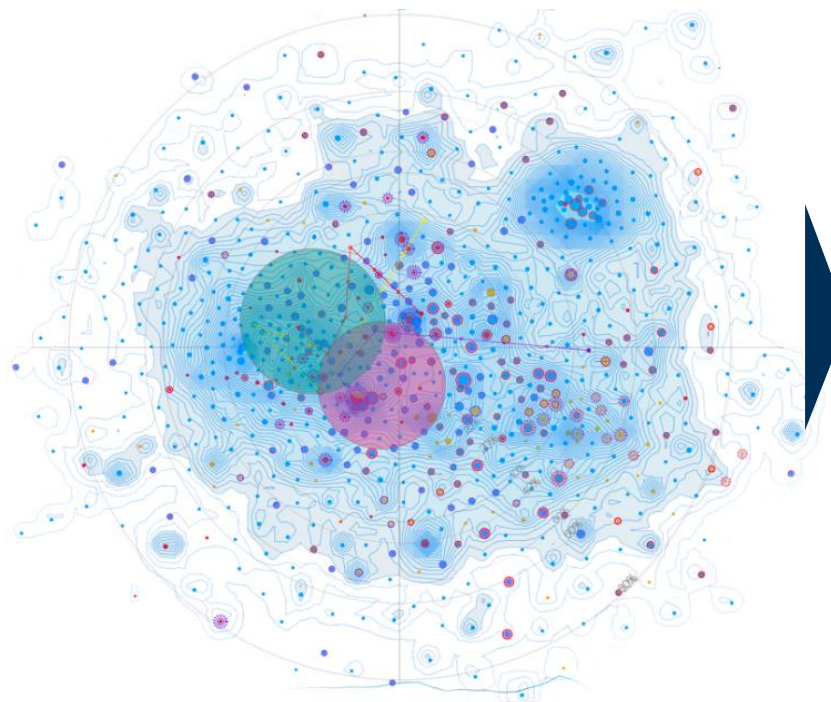
特許、論文、SNS、記事、
アニュアルレポート 等



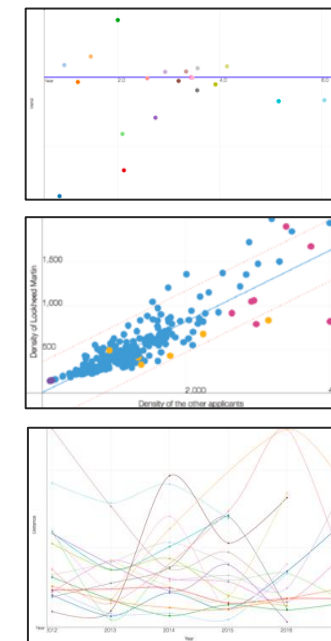
文書間の類似性に
基づいたクラスタリング



クラスター同士の類似性に
基づいた可視化



様々な指標による
定量的な解析

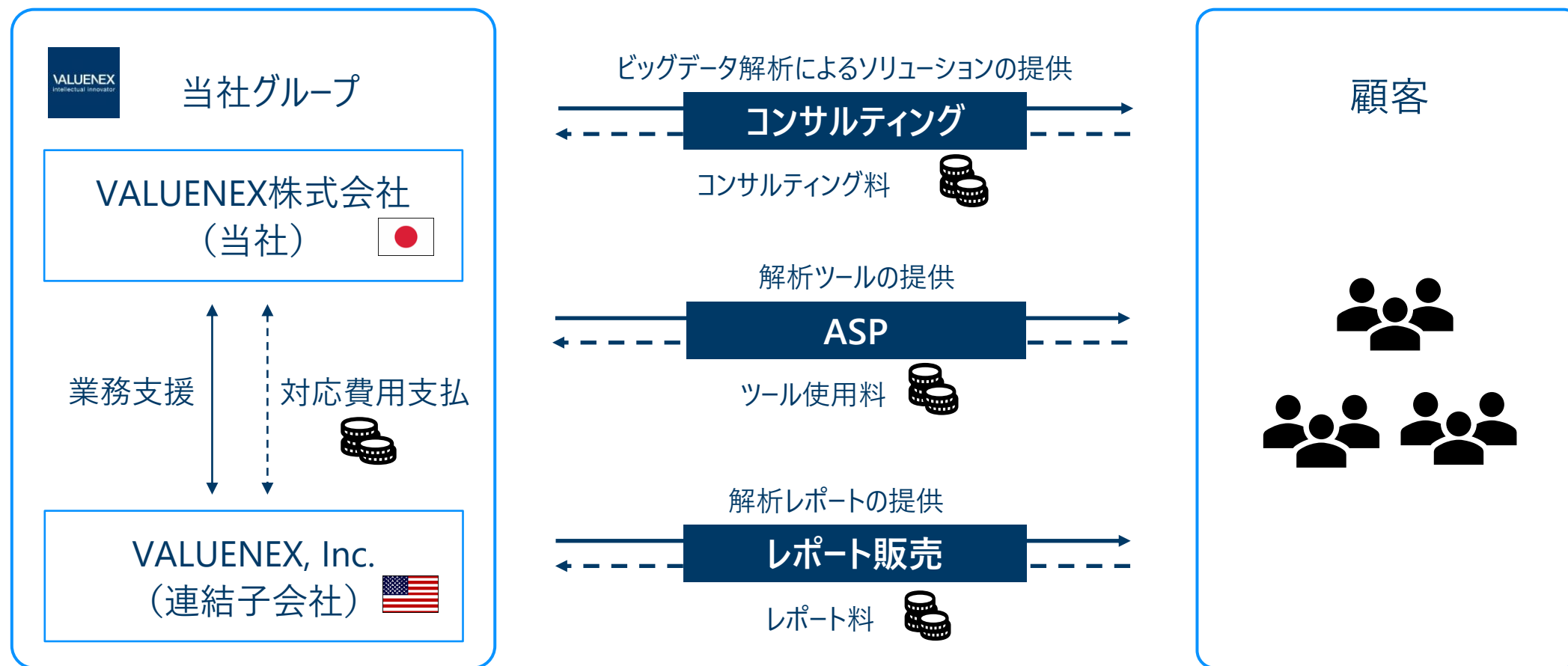


主要サービス概要

サービス分類		概要	主要対象顧客	対象文献	データベース
コンサルティング		顧客の課題に応じた調査・解析及びコンサルティングを当社が実施	調査/解析する時間・人材がない、もしくは結果だけが欲しいといった方が対象	✓ 特許、論文 ✓ 新聞記事 ✓ SNS、アンケート、クチコミなど	付属せず
レポート販売		当社が独自に調査・解析を行い、簡易レポートを提供			
ASP	DocRadar	最大10万件までの様々な文書データを可視化・解析	特許以外にも、学術論文、クチコミ情報、アンケートデータ、商品紹介等の多様な文章データを俯瞰解析したい方が対象		
	Tech Radar	最大1,000件まで特許を高速可視化	特定の特許や技術の類似特許を検索・可視化したい方が対象		
	Scope	最大10万件までの特許を可視化・解析	業界・技術分野や企業の研究開発領域を俯瞰解析したい方が対象	特許	付属
	Vision				

事業モデル

当社独自の解析ツールの提供、俯瞰解析から予測分析・戦略活用までのコンサルティング／レポート販売しています。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

Appendix

会社概要

社名	VALUENEX株式会社
事業内容	アルゴリズム事業
設立	2006年 8 月 1 日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号
資本金	528百万円（2020年1月31日現在）
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国
従業員数	連結32名、単体29名（2020年1月31日時点） ※役員除く
役員	中村 達生 ：代表取締役 社長執行役員 CEO /博士（工学） 鮫島 正明 ：取締役 上席執行役員 CFO /MBA 本多 克也 ：取締役 執行役員 研究開発本部長/博士（工学） 片桐 広貴 ：取締役 執行役員 ソリューション事業推進本部長/工学修士 Sam KOVACH ：取締役 上席執行役員 CINO 海外事業推進室長 鈴木 理晶 ：社外取締役/弁護士 松田 均 ：社外常勤監査役/公認内部監査人 花堂 靖仁 ：社外監査役/ 大学名誉教授 宮内 宏 ：社外監査役/弁護士

ミッション及びビジョン

Mission

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です

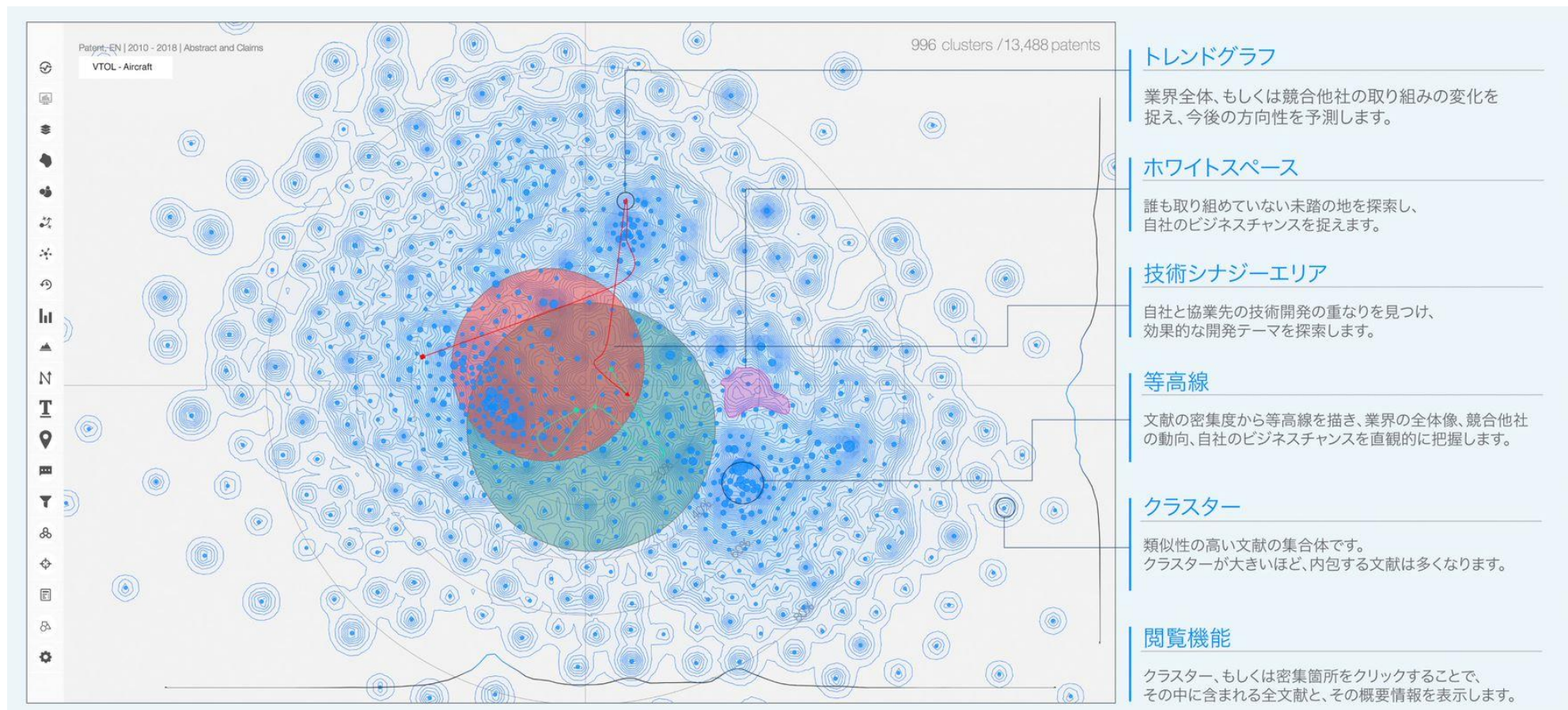
Vision

- 我々は、世界に氾濫する大量の情報を「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です
- 我々は、世界に認知される企業を目指します
- 我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します
- 我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します

当社ASPの検索・可視化イメージ

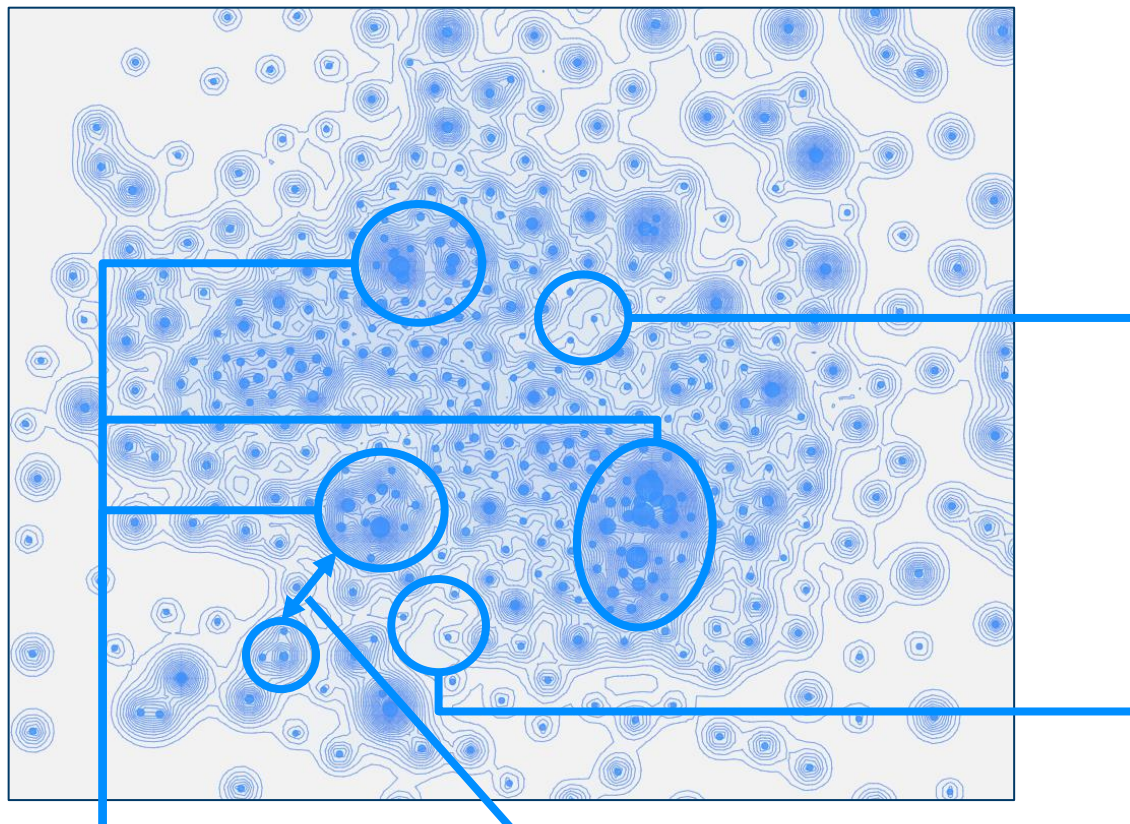
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



● 各プロットは似ている文書をひとまとめたクラスタ

● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例

↔ クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）

□ XY軸は予め定義されていない。
クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

クラスタが密集

= データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

クラスタ間の距離が近い

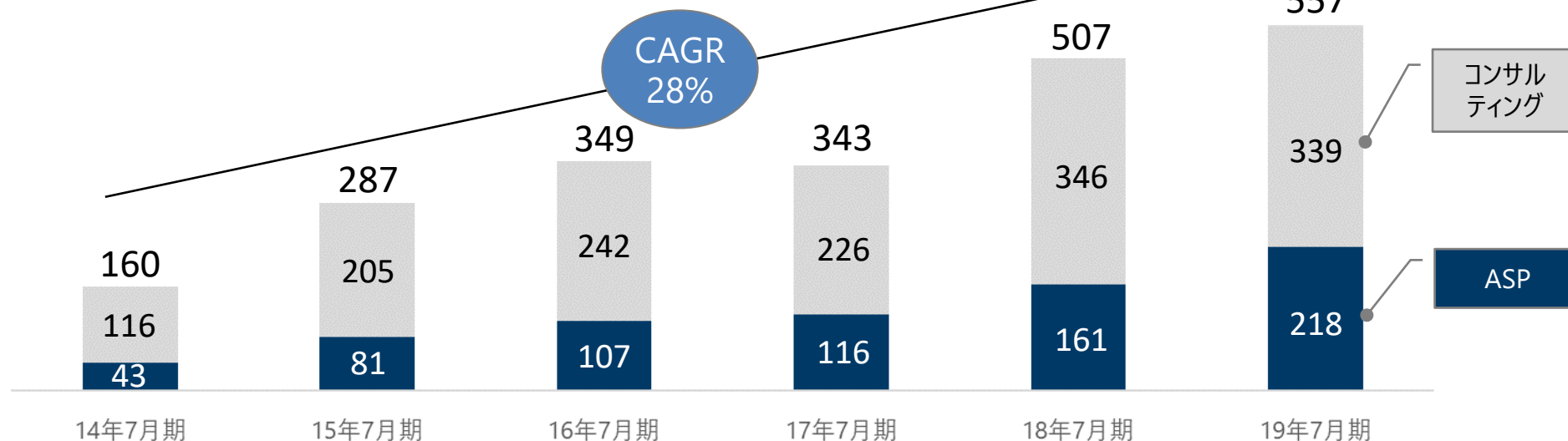
= 内容の関連性が高い

ホワイトスペース

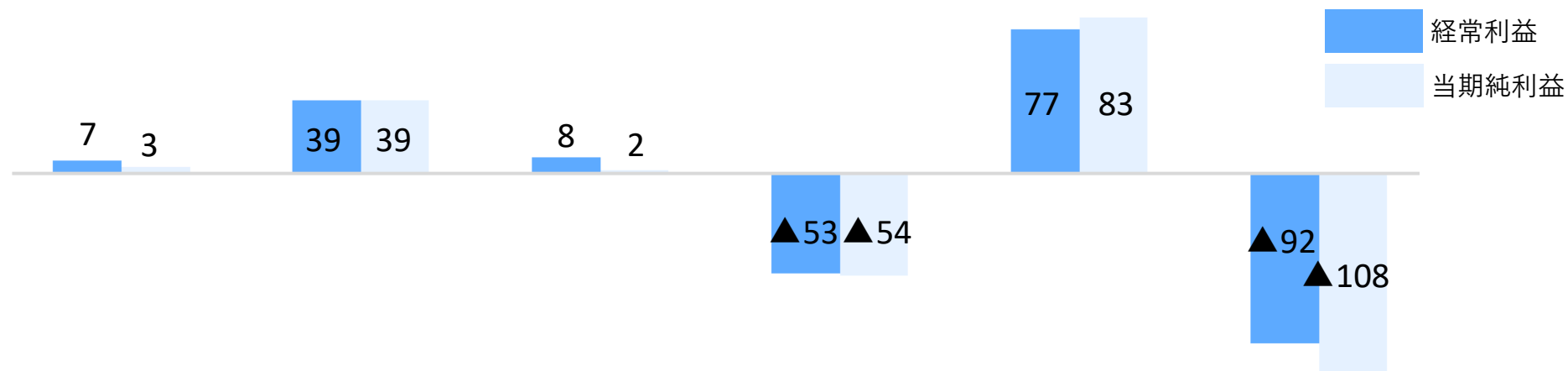
業績推移

単位：百万円

売上高^注



経常利益
当期純利益



注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売に係る売上も一部ございます
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

VALUENEX

FOR MORE INFORMATION:

www.valuenex.com
customer@valuenex.com